

議会だより

6月定例会

町議会6月定例会は6月20日(月)から30日(休)まで開かれました。7議案(うち2議案は議員提出)を審議し、すべて可決しました。主なものは、昭和63年度一般会計、老人保健特別会計の補正予算案、町道路線の認定などです。請願は4件上程され、すべて採択されました。また、意見書として大型間接税、農業に関する意見書の2件を提出しました。一般質問には7人の議員が立ち、消費税、山田小学校整備、町施設の管理・保全、町財政などについて町長にたずねました。なお、臨時議会が5月に2回、7月に1回開かれました。

日	程
6月20日(月)	会期の決定、行政報告、議案の上程、議案の説明、質疑、討論と付託(諮問第1号)、委員会付託(議案第27号～30号)、陳情の上程、質疑、質
21日(火)	総務文教委員会
22日(水)	産業建設委員会
23日(木)	厚生企業委員会
24日(金)	一般会計予算審査特別委員会
25日～27日	休会
28日(火)	一般質問
29日(水)	休会
30日(木)	委員長報告、質疑、討論、採決(議案第27号～30号)、請願・陳情の審査報告、質疑、討論、採決、特別委員長報告、議案の上程、質疑、討論、採決(議員提出議案第4号)

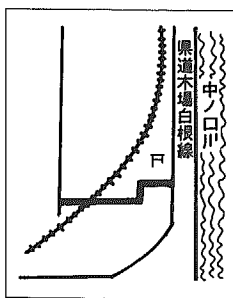
63年度一般会計補正予算案 老人保健補正予算案など 7議案を審議可決

議案

■人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(諮問第1号)
本多敏彦氏(金巻・56歳)を人権擁護委員として推薦することに同意を得た。

町道路線の認定

板井六軒線を町道に認定。(議案第27号)



■地区計画等の案の作成手続きに関する条例の制定(28)
都市計画法に基づき、地区計画等の案の作成手続きについて必要な事項を定めたもの。5条からなる。

昭和63年度一般会計補正予算(第3回)

1億486万9千円増額し総額41億8119万7千円に。
●補正された主なもの
○歳出)農村総合整備事業工事費2649万7千円。財政調整基金積立金4850万円。板井四番組集落センター建設補助金576万5千円。産業

育成資金貸付金300万円減。産業育成資金貸付金、利返還金311万円減。
●昭和63年度老人保健特別会計補正予算(第1回)(30)
610万6千円増額し、総額9億5148万円に。

網紀肅正調査特別委員会の調査に要する経費の決議について(議員提出議案第4号)

本年度中の網紀肅正調査特別委員会に要する費用を102万7千円以内とする。
●国庫補助負担率の復元に関

する緊急要望決議について(議員提出議案第5号)
国の財政上の都合で引き下げられていた国庫補助負担率の補助負担率を64年度予算では59年度の水準にまで復元してほしいと決議。

すべて採択されました

●生産者米価の引き上げと食糧・農業を守る意見書の提出を求める請願(請願第5号)
提出者 新潟県農団連会長 湯浅豊治
国民の食糧・農業を守るた

口として交通量も増大している。町道認定と改良舗装をお願いする。

■昭和63年度産米の政府買入価格及びわが国農業・農村の将来展望と米穀政策の確立に関する請願書(8)
提出者 黒埼町農協組合理事 長 本間春市ほか1名
新潟県農業の発展と健全な育成をはかり、地域経済社会の活性化と国民の主要食料の安定・安全確保をはかるため、昭和63年度産米の政府買入価格ならびにわが国農業・農村の将来展望と米穀政策の確立について早期に実現されるよう町議会も意見書を政府等に提出してほしい。

○政府買入価格の算定方式ならびに算定要素の改善
○政府買入価格は現行価格を維持すること
○わが国農業・農村の将来展望の確立
○農業生産基盤の整備拡充と農家負担の軽減
○水田農業の生産規模拡大と担い手育成対策の強化
○水田農業確立対策の推進
○実効ある米の需給均衡化対策の確立
○米の消費拡大対策の抜本的強化
○品質向上と物流合理化をはかる生産・流通施設の整備・

○米の消費拡大対策の抜本的強化
○品質向上と物流合理化をはかる生産・流通施設の整備・

○生産資材価格の抑制・引き下げ
●次意見書が提出されました。
●大型間接税(E・C型付加価値税)に関する意見書(意見書第3号)
大型間接税(E・C型付加価値税)は課税対象の幅が広く、一般国民には新しい税負担となり、国民生活に重大な影響を及ぼすことが懸念されるので、政府は大型間接税(E・C型付加価値税)の導入を実施しないよう強く要望する。
送付先 内閣総理大臣・竹下登、大蔵大臣・宮沢喜一

●昭和63年度産米の政府買入価格およびわが国農業・農村の将来展望と米穀政策の確立に関する意見書(4)
請願第5号、8号に基づき提出された。
送付先 内閣総理大臣・竹下登、大蔵大臣・宮沢喜一、農林水産大臣・佐藤隆、食糧庁長官・豊滋

●最終日に、高橋勇議員が綱紀肅正調査特別委員を辞任、許可された。

第2回臨時議会(5月9日)

●専決処分承認を求めることについて(議案第24号)
○黒埼町税条例の一部を改正する条例(専決第5号)
○黒埼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例(6)
○昭和62年度黒埼町一般会計補正予算(第8回)(7)
1億4907万9千円増額し総額4億590万6千円に。
●補正された主なもの
○歳出)教育施設整備基金積立金9595万5千円、財政調整基金積立金9018万2千円、持家住宅建設資金貸付金1795万円減

昭和63年度黒埼町一般会計補正予算(第1回)

50万円増額し総額4億7050万円に。
●山田小学校グラウンド用地に関する陳情書(陳情第1号)
提出者 山田小学校校舎新築促進委員会委員長 逢坂茂ほか7名
山田小学校の校舎について三月議会で木造校舎の改築を採択、六十三年度中に完成しますが、グラウンドの拡張は実現をみないまま現在にいたっています。校舎改築が始まると屋外グラウンド用地が

第3回臨時議会(5月28日)

●昭和63年度黒埼町一般会計補正予算(第2回)(26)
582万8千円増額し総額4億7632万8千円に。
●補正されたもの
○歳入)前年度繰越金
○歳出)小学校仮校舎改修工事費など
●山田小学校プレハブ校舎仮設に関する請願書(請願第4号)
提出者 山田小学校PTA二年生・五年生代表 加藤ユウ子ほか三名
山田小学校改築問題につき、山下家具研修所を分校として使用した場合、構造上・教育的な面・防犯・経済上の問題から不相当であり、現在あるグラウンド敷地内にプレハブ校舎の仮設をお願いしたい。
※不採択。

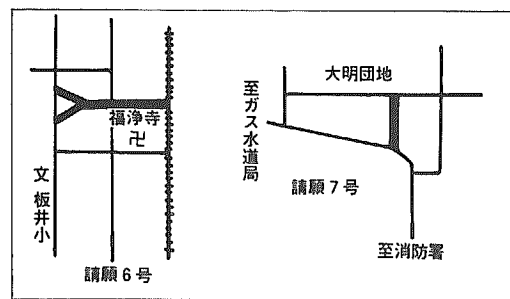
第4回臨時議会(7月19日)

●黒埼町職員の休日休暇に関する条例の一部改正について

め、以下のことについて政府等関係機関に意見書を提出するよう請願する。
○生産費をつぐなう生産者米価の引き上げをはかること。
○食糧制度の根幹である二重価格制と全量管理を守り、消費者米価の引き下げをはかること。
○国家貿易の牛肉・オレンジなどの自由化と米の自由化は絶対に行わないこと。
○国内農産物の生産費の半分以上を占める農業生産資材の独占価格と円高差益を全面的に還元させること。
○転作田の土地改良費の減免を政府の責任で行うこと。

板井四番組御不動様道路の改良舗装に関する請願書(6)

提出者 板井区長 高橋仁治 郎ほか3名
図の道路は不動明王があつて多くの住民が利用し、直接前面道路としている家が16戸あり生活道路としても重要である。



鳥原大明団地内町道認定と道路改良舗装に関する請願書(7)

提出者 鳥原大明団地自治会長 伊藤秀正
図の私道は昨年から小学校の通学路となり、団地の出入

約の締結について(33)

2億2750万円で(株)福田組新潟営業所と契約。
●黒埼町立山田小学校校舎増築工事(機械設備)請負契約の締結について(34)
4750万円で新潟企業株式会社と契約。
●網紀肅正調査特別委員会の委員の選任について(黒議選第1号)
横山仁幸議員が網紀肅正調査特別委員に選任された。

一般質問

(要旨)

消費税による町財政、町民への影響は

町税一億円の減収見込み、影響が心配

●A議員 消費税について ①国会審議にも入っていない状況である。ただやはり町民に影響が出ると考えられる。②町の財政減は国が責任をもつて補てんしてもらいたい。③問い合わせがかなりあるようだ。今後の推移を見守っていく。
●B議員 消費税が導入されること町財政に影響が出る。具体的には、③町民からの影響は、低所得者、年金生活者の負担が大きくなる。どう対応するか。
●町長 ①新聞・テレビの報道による断片的な知識しかなく、国や県から指導、連絡がない。ある。また、排水溝が整備されていず雨天の際には水たまりができて通行にも支障をきたすので、早期に改良舗装されるよう請願する。